

# ピンクリボン in SAPPORO 2014

2014年9月7日(日)、中央区南3条西4丁目 さっぽろホコテン内で開催された「ピンクリボン in SAPPORO 2014」に参加してきました。

今年は、当日の朝に雨が降っていましたがイベント時には暑くもなく、多くの方に参加頂きました。

当院の乳腺センターからは、医師3名、看護師2名、検査技師2名(うち札幌病院所属1名)、事務系3名の計10名でおそろいのピンクのTシャツとニワトリの着ぐるみ着用で参加しています。



中央舞台では、ジャズコンサートや札幌創成高校の太鼓、札幌西ロータリークラブ合唱と素晴らしい様々なステージイベントが開催。イベントブースでは乳がん模型コーナーやボディージュエリーの展示が開かれていました。

今回の当院でのブースは、昨年も展示した触診モデルに加えて、初めての試みとして超音波検査装置を持ち込んで、後藤先生自作の人工乳房モデル(ファントム)を活用したエコー体験を実施しました。

多くの皆様に立ち寄って頂き、触診モデルに触れて頂きながら鎌田先生・後藤先生・中村先生から自己検診法を説明、中野技師長から超音波画像を見ながら検査の説明や来場者にも超音波プローブを握って“しこり”を探してもらったりと好評でした。

用意した100冊の検診案内パンフレットは、来展者やイベント参加者にすべて配布することができました。



今回は、ニワトリの着ぐるみ(通称トリッキー?)も参加、イベントの盛り上げに大いに力になっています。

乳がんの早期発見にむけた啓発活動に、来年も是非、参加していきます。

